

ROTARY OPENS OPPORTUNITIES

ロータリーは機会の扉を開く

2020～21 年度年度

国際ロータリー会長 Holger Knaack



東京麹町ロータリークラブ

本日の例会プログラム

第 28 例会 2021.4.19 (#2304) 会場: 舞の間

例会ホスト・紹介係 藤田君 会費係 内田君

受付係 荒川君 中村君

司会者 加賀君 ソングリーダー 鈴木君

卓話「拡大する災害による情報喪失を防ぐ技術」

石渡 弘行氏
木寅会員紹介

前回の報告

第 28 例会 2021.4.12 (#2303) 会場: 舞の間

例会ホスト・紹介係 吉田君 会費係 飯嶋君

受付係 秋山君 守屋君

司会者 加賀君 ソングリーダー 鄭君

卓話「企業審査のポイント～基本と実践」

日本賢人会議所副理事 坪井 清氏
木寅会員紹介

会長報告

- 1) 例会が開催できて嬉しい事です。本日は、ファイナンス営業支援のプロから、企業審査についてのお話をいただきます。本来、2時間以上は必要なお話を短時間に集約してお話をさせていただきます。後程宜しく御願い致します。
- 2) 米山奨学会より、藤谷会員に感謝状と、秋山会員には今月からの奨学生カウンセラーとして委嘱状が来ております。クラブにもお世話クラブとして委嘱状が届いております。
- 3) 福島南 RC から、若林ガバナーエレクトへ激励の寄せ書きが届いております。

幹事報告

- 1) 次年度の委員会所属のご希望は15日までにお知らせ下さい。
- 2) 例会終了後に、定例理事会を開催致します。該当の方はお残りください。
- 3) 4月21日に開催される、次年度の地区研協議会はカテゴリーもちがい、何方もアクセスし視聴できます。次年度委員長副委員長は担当のセッションに参加をいただきますが、ご興味のあるあるセッションに参加され、クラブ運営にご協力ください。



例会記録

| | | | |
|--------|-----|-------|--------|
| 会員総数 | 42名 | 出席会員数 | 20名 |
| ゲスト | 0名 | その他 | 0名 |
| ビジター | 0名 | 事務局 | 2名 |
| 海外ビジター | 1名 | 出席率 | 70.58% |

ニコニコボックス

秋山会員: 5人目の孫が生まれました
若林会員: 地区大会ありがとうございました
齊藤会員: 松山選手、マスターズ優勝
おめでとう
結婚記念日: 莊村会員(2/6) 吉沢会員(4/4)
パートナー誕生日: 時園会員(2/11)
誕生日祝い: 時園会員(2/2) 植芝会員(4/2)
若林会員(4/26)

次回予告

第31回例会 2021.5.10 (#2305)

【オンライン例会】

卓話「ローターアクトの活動」

地区ローターアクト代表 鈴木 宏美氏

紹介者 須藤会員



俳句 いろいろ

俳人 行方 克己 氏 (12/14 卓話 金田会員紹介)



人にはいろいろな生き方があり、俳句にもいろいろな作り方があります。

俳人安住敦の句に「てんと虫一兵われの死なざりし」があります。

どういう句だと思いますか。彼は二等兵で、実は戦時中、爆弾を抱えて戦車に飛び込む役目を持っていました。しかし、その前に戦争が終わったので死ななくて済んだという句なのです。「しぐるるや駅に西口東口」という句も詠んでいます。「しぐるるや」の代わりに何かを置いたら、いくらでもできそうな面白い句です。「根岸の里のわび住まい」と同じで、上に何か付けるといくらでも句になるという例です。しかし、こういう句は口ずさみやすいので、有名になりやすいのです。俳句は誰にでもできそうなところも面白みの一つです。

久保田万太郎は、文化勲章という文学者として最高の称号を得た俳人で、芝居や小説でも有名です。「俳句はあくまでも余技だ」と本人は言っていました。今は俳人として名高くなっています。「竹馬やいろはにほへとちりぢりに」という句は、自分のはのんびり文学を学んでいるけれども、竹馬で共に遊んだ仲間も、いろはにほへとを共に習った仲間も、みんなそれぞれの方向に巣立ってしまったということを詠んでいます。それから、「湯豆腐やいのちのはてのうすあかり」という名句もあります。彼は文化の世界を究めた反面、家庭生活が不幸だったといわれています。ですから、湯豆腐をつつきながら、自分の人生はどうだったかなどとしみじみとしている様子がしのばれます。

「おそるべき君等の乳房夏来る」という句を詠んだのは、西東三鬼という俳人です。私も非常に同感する句ですが、こういう句もあるのです。彼は「広島や卵食ふ時口ひらく」という句も作っています。この句の季語は「広島」で、「広島忌」のことを指します。つまり、原爆投下のことを詠んだ句です。ゆで卵を剥いて食べる様子から、直接表現はしていないものの、原爆によるケロイドを想起させるという、非常に不気味さと恐ろしさのある句です。

また、戦争のことをよくうたった人に金子兜太がいます。彼は「海程」という俳句雑誌も創刊した俳人ですが、日本銀行員でもありました。「銀行員ら朝より蛍光す烏賊のごとく」という句には季語がありません。朝出勤したときに、銀行の薄暗い部屋で働く銀行員の真っ白なワイシャツが光っているかのような光景を詠んでいます。

それから、「彎曲し火傷し爆心地のマラソン」という句にも季語はありませんが、明らかに広島原爆を思い浮かべています。被爆者たちの体は湾曲し火傷する。大勢の人が爆風を受けて吹き飛ばされ、また逃げ惑う。そんな光景を想像させる句であり、原爆の句としては最高の句だと私は思っています。

私の先生である清崎敏郎の「かなかなのかなかなとなく夕かな」は、ひぐらし(かなかな)が鳴く頃になると必ず思い出される句で、私たちの心に非常に入ってきます。それから、「滝落としたり落としてたり落としてたり」という句は、那智の滝を巧みに詠んでいます。

坪内稔典という人は、松尾芭蕉が生まれてちょうど 300 年後の 1944 年生まれで、実は私と同じ年です。「三月の甘納豆のうふふふ」という句には何の意味もありませんが、印象深いものがあります。これが俳句の魅力の一つです。このような俳句もあるのです。

最後に、私の句を紹介します。「生涯の今年後何時翳雲」。私が 40 代のときに作った句です。これを他の人に尋ねると、「私はまだ昼寝から覚めたばかりだ」とか、まだ若いのに「もう夜中の 12 時近くですよ」と言われるので、その人の精神状態や気持ちがよく分かります。俳句の世界ではあまり有名な句ではありませんが、朝日新聞の「素粒子」や新幹線車内に置かれている「Wedge」でも取り上げられました。

私は『世界みちくさ紀行』という紀行文集も書きました。その話も面白かったのですが、今日は俳句の話をしていただきました。もし次にお声を掛けていただくことがありましたら、紀行の話でもしたいと思います。

クラブだより No.29

**4月26日は定款により休会です。
まん延予防等重点措置が発出されている間は、
オンライン例会 となります。**

東京麹町ロータリークラブ

| | | |
|-------|-------------|--------------------------------|
| 設立 | 1968年6月17日 | 〒102-0093 |
| 例会日 | 月曜日 12:30 | 千代田区平河町 1-3-8 |
| 例会場 | ホテル・ニューオータニ | 平河町プラザ 204 号 |
| | | TEL:03-3263-9220 |
| 会長 | 須藤 仁 | FAX:03-3263-9122 |
| 幹事 | 齊藤栄太郎 | e-mail office@koujimachi-rc.jp |
| 会報委員長 | 飯嶋 一晃 | URL: www.koujimachi-rc.jp |